いわて未来づくり機構だより～第6号～

発行日　平成21年9月28日

いわて未来づくり機構は、県内各界、各層の組織の横断的かつ意欲ある「参画」「連携」を実現し、さらに各組織の智慧を結集し、スピード感を持って「実践」することにより地域の総合的な発展を目指す新しいネットワークです。

会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
いわて未来づくり機構だより第６号をお届けします。
本号では、９月２日に開催されました平成２１年度第２回ラウンドテーブルの内容を中心に報告します。
今後とも、機構の活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

事業報告

平成21年度 第２回ラウンドテーブル

9月2日(水)16時から、サンセール盛岡において、平成21年度第2回ラウンドテーブルが開催されました。

以下の事項について報告があり、報告内容に基づいてラウンドテーブルメンバーでディスカッションを行いました。

【報告事項】
① 各作業部会の進捗状況について
② 「産学官連携拠点の形成支援事業」の今後の進め方について
③ 「新しい長期計画(案)」について

【ディスカッション】
3つの報告事項を受けて「岩手のあるべき姿」の観点から機構と作業部会の方向性などについての意見交換を行いました。

主な議論の内容

- 台湾に派遣する経済ミッションに備えて、売りたいもの、買いたいものを明確にしておくことが必要。
- ブランドづくりは紙の上だけで行うのではなく、具体的な施策展開が必要。
- 豊かさの指標を大学の研究テーマとしてはどうかという作業部会からの提案については、積極的に受け止めて検討していく。
- 各作業部会はしっかりやっているが、これからが正念場であり、単なる勉強会に終わらないよう、しっかりがんばって欲しい。
- 新しい長期計画・アクションプランの実施に当たっては行程表に基づいてきちんとやっていくことが必要。
- 新しい長期計画におけるいっしょに育む希望郷いわてという目標は機構とも軌を一にするものであり、新しい長期計画を進めていくに当たっても、機構の協力をお願いしたい。

産学官連携拠点の採択について

【拠点形成の目的】

産学官連携拠点を選定し、それらに関係府省、自治体等の各種の施策を有機的に組み合わせて総合的・集中的に実施することにより、人材育成・基礎研究から商業化・事業化までの活動を、産学官が有機的に連携して推進し、持続的・発展的にイノベーションを創出するイノベーション・エコ・システムの構築を図ろうとするものです。

【選定結果】

地域の特長や強みを活かし、地域産業の競争力強化や新産業創出による産業構造改革などを目指して産学官連携活動が行われる「地域中核産学官連携拠点」には、28拠点が応募し、**北上川流域を中心とするものづくり拠点**を含む10拠点が採択されました（東北では本県と福島県のみ）。

【ものづくりコーディネート研究会】

- 文部科学省の「産学官連携戦略展開事業」による支援を受け、地域プランナー（大島修三岩手大学客員教授）を配置し、県内のコーディネータ、インキュベーションマネージャなどが集まった「ものづくりコーディネート研究会」を組織します。
- ものづくりコーディネート研究会は、人材の確保・育成から研究開発、実用化、事業化までのシームレスな活動が展開可能な体制の構築を図ろうとするものです。

今後の予定

工場見学会

9月28日（月）9時岩手大学工学部出発で（株）新興製作所とTDK-MCC（株）の工場見学会を開催します。

テクノフェアはなまき2009

10月23日（金）～10月25日（日）花巻市総合体育館を会場に開催されます。全国農商工連携フォーラム in はなまき(10/24)やいわて県南地域ものづくりプラザ(10/23)なども併設されます。

第３回ラウンドテーブル

次回のラウンドテーブルは2月頃を予定しております。
詳細が決まりましたら、ホームページでお知らせします。

作業部会の紹介

いわて未来づくり機構では、５つの作業部会を設置してそれぞれ活動しておりますが、今年度、２つの部会において座長の交代がありましたので、あらためて各部会の状況をご紹介します。

第１作業部会（一次産品の高機能化）
○農業が「連峰型産業」の一角となるための土台の構築
座長：松本真一営業推進役（岩手銀行）

第２作業部会（産業基盤の集積と強化）
○基盤集積と強化のためのアクションプランの作成と実行
座長：岩渕明教授（岩手大学）

第３作業部会（岩手ブランドの国内外展開）
○岩手ブランド戦略の検討
座長：大平尚政策調査監（岩手県）

第４作業部会（地域力を支える人材育成）
○地域力向上のための人材育成プログラムの集約とネットワーク化
座長：後藤尚人教授（岩手大学）

第５作業部会（医療と福祉態勢の整備・充実）
○医療・保健・福祉の連携のテーマを「包括」をキーワードに検討
座長：佐藤嘉夫教授・社会福祉学部長（岩手県立大学）

岩手のモノ紹介コーナー

アイーナ３階の「いわて希望プラザ」に「岩手のモノ紹介コーナー」を設置し、Made in IWATEのモノ（商品、技術、サービスなど）を広く情報発信しています。

岩手のモノ紹介コーナー 第一弾

(株)アマタケ ～日本でいちばんおいしい鶏を育てたい～

アマタケのこだわり

① 三陸海岸と小高い山々に囲まれた岩手の大自然の中で、すべての鶏を全飼育期間にわたって、抗生物質、合成抗菌剤を一切使わずに育てることで、安全・安心な“南部どり”を生産している。

② 非常に難しいとされる原種鶏から自社で育てることで、安定供給を確保している。

③ その結果、アマタケブランドは、首都圏においても高い評価を受けている。

事務局からのお知らせ

会員各機関における代表者及びご担当者名、メールアドレス等に変更がございましたら、アイーナ事務局の佐藤までお知らせくださるようお願いします。

電　話：019-606-1775（FAX兼用）　E-mail：daihyo@iwatemirai.com
ホームページ　http://iwatemirai.com/　会員用ホームページ　http://iwatemirai.com/xoops/